F·wave
2022 12
藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

特集：優タウンが描くミライ

■学校に行きたくない！

皆さまは「ホームスクーリング」という言葉を知っていますか？家庭を拠点に子どもの興味や意欲を大切にしながら学ぶ方法で、アメリカでは 170 万人以上もの子ども達が実践しています。

今回の記事では、藤沢市内で子どもだけでなく大人にとっても、働き方・生き方の多様な価値観のある街を目指して活動している「ホームスクーリングで輝くみらいタウンプロジェクト」（以下、「みらいタウンプロジェクト」）の代表、小沼さんに取材をしました。

息子さんが小学生になり、「学校に行きたくない」と言い出したことをきっかけに、学校を嫌がる息子さんを無理やり連れていく壮絶な日々を過ごしたそうです。ある時、学校を嫌がり逃げる息子さんがマンションから飛び降りてしまうのでは、という姿を見てから「子どもがこんなに嫌がっているのに、学校に行かせるのは世間体などを気にする自分のための行為なのではないのか」と気づき、大変ショックを受けたとのことでした。それからは、「我が家は我が子にあった教育をしていこう」と決めて、行き着いた先は「ホームスクーリング」でした。

（つづく）

優タウンが描くミライ

■生きやすい社会に

「不安を抱えた親子が生きやすい社会にするためには、不登校の親子自身が「今の自分で大丈夫」と自信を持ち元気になることが大事。そして地域の公共施設、大学や大学生、地域の大人達、地元企業や学校、フリースクール、塾など、街全体が「ホームスクーリング」という学び方を受け入れ、日中昼間でも偏見なく子どもを受け入れられる街になることを願っています。そんな環境になれば、子ども達は安心して興味のあることを学べます」との話が印象的でした。

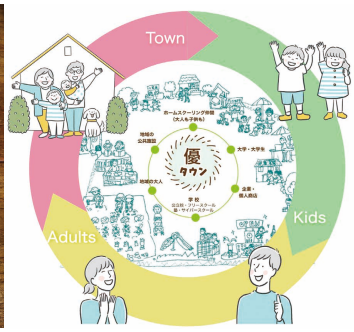
■優タウンを目指して

みらいタウンプロジェクトでは、地域のみんなで子どもを育て合える街を「優タウン」と名づけ活動しています。

講師をお招きして開催するセミナーや、同じ想いの仲間で集まる「朝カフェ」を定期的に開催し、悩みや情報を共有し、つながりを作っているそうです。朝カフェでは、子どもが学生などのボランティアスタッフと一緒に遊んだり工作をしたり、親は親でまったりと話をしたり、思いのままに過ごしています。現在、朝カフェのグループメンバーは約 110 名になり、情報共有の場として活用されているとのこと。これらの活動を継続していくうちに、少しずつ「みんなにオープン」で「安心安全」を大切にした親や子同士のコミュニティが形成されてきたとのことです。

■活動の幅の広がり

今年度に入ってから、活動の幅はますます広がったそうです。ある日、朝カフェメンバーから「子どもの作品を発表できる場を作りたい」という声があがり、ホームスクーリングの子どもたち



が制作した作品を、地域の方々に見てもらう機会としてイベント「朝 Cafe こどもアート」を 2 回開催しました。会場が駅前という人目につく場所で、平日の昼間に開催をして「不登校にネガティブな考えを持つ方からの批判もあるのでは」という懸念もあったそうですが、多くの方から温かいお言葉をいただき、子ども達の自信にも繋がったようです。

小沼さんから「イベントなどを通じて、新しいメンバーも増え、今では幅広い年齢層の方が仲間となって一緒に活動するようになった。その他にも、地域の方と接する機会が増えたことで、地元企業や行政の方からサポートしてもらえる関係性ができてきて、大変有難い」と嬉しそうに話していただきました。最近では、学生メンバーのオリジナルデザインでキャップをつくるなど、さらに活動の幅が広がってきている様子が伝わってきました。

市民活動団体が目指しているビジョンを実現させるためには、未来を描き、目的に沿った活動内容を行っていくことが大切です。言葉で言うのは簡単ですが、みらいタウンプロジェクトでは、不登校の親子が集える場の運営、メンバーが活動できる環境づくり、そして「ホームスクーリング」を広く伝える活動を続けてきました。だからこそ広く地域の方や団体とのつながりが生まれてきているのではないでしょうか。今後、みらいタウンプロジェクトが中心となって作っていく「優タウン」が楽しみになる取材でした。

(取材・記事執筆：支援施設サポーター F-wave 班)

団体紹介

ホームスクーリングで輝く みらいタウンプロジェクト

設立:2017年2月
代表:小沼 陽子
HP:https://homeschooling-town.com
MAIL:hsmiraipj@gmail.com

家庭を起点として地域の色々なところを活用して学ぶ「ホームスクーリング」の家庭と地域をつなぐ活動を行なっています。

学校・フリースクール・地域施設・オンライン環境など、自分にあった学びを安心して選択できる環境が整った中で、学校に行かなくても自立した人生を歩める子ども達を一緒に育てていけるまち『優タウン』を目指しています。最近では、地元企業と協力して事業を実施するなど、活動範囲を広げて事業を展開しています。

地域の人による地域のための集会所

NPO TIPS

新型コロナウイルス感染症の拡大は、市民活動にも大きな影響を与え、多くの活動が中止や縮小せざるを得ない状況となりました。

しかし、感染症の発生から 3 年が経過しようとする中、経済活動の回復とともに、活動もウィズコロナの下で徐々に活発さを取り戻しつつあります。

今号では、藤沢市内に数多く点在する「地域市民の家 (以下、市民の家)」をご紹介します。

市民の家とは

市民の家は、市民のだれもが、一定のきまりの下に、自由に集い、語らい、学び、触れ合う場として利用することができるコミュニティ施設です。市内 41 か所に設置されており、地域の市民による運営委員会が、藤沢市と協力しながら維持管理をしています。

利用料金

ホール 300 円 その他の部屋 200 円

利用時間

料金は 4 時間あたり (午前・午後・夜間)
午前の部 午前 9 時 ~ 午後 1 時
午後の部 午後 1 時 ~ 午後 5 時
夜間の部 午後 5 時 ~ 午後 9 時

利用方法

細かな利用方法は運営委員会の方針により、市民の家ごとに違いがありますが、基本的には下記のような流れになります。

- 予約 -
1 利用日以前に鍵の保管者から鍵を借り、施設内の予定表を確認後、利用届出書を作成する
2 管理者に鍵を返却して、利用届出書を提出する
- 利用 -
1 鍵を借り、施設内の自動販売機から利用券を購入、予定表に利用券を貼付する
2 利用する
3 片付け・清掃・消灯・戸締まりをする
4「利用日誌」を作成、鍵の保管者に「利用日誌」の提出及び鍵の返却をする

禁止事項・注意点

以下のような禁止事項があります。

・市又は運営委員会の確認がない張り紙、ポスター等の掲示。
・利益を目的とした利用及び販売行為あるいは営業行為と見られる利用及び販売行為やチラシ等の配布、設置。
・公益、風俗、秩序、環境を乱す行為、又はそのおそれがある行為。
・利用者間の鍵のまた貸し、また借り。
・所定の場所以外での火気の使用。
・市又は運営委員会の確認がない電気器具の持ち込み。
・建物内及び敷地内の喫煙。
・市又は運営委員会の確認がない利用者の私物の保管。

また、18 歳未満の利用などについて注意事項があります。詳細は二次元コードからご覧ください。

公共施設の貸室の中でもかなり安い値段設定になっています。初めて地域市民の家をご利用の場合は、市民自治推進課 (0466-50-3516) までお問い合わせください。(せ)

日本ボランティア・NPO・市民活動年表

なぜなにNPO vol.161

大阪ボランティア協会ボランタリズム研究所の「日本ボランティア・NPO・市民活動年表」の増補改訂版が届きました。ページ総数1,100p、5.5cmの超大作です。2014年初版から8年が経ち「ボランティア・NPO・市民活動」業界の動きは目まぐるしく、増えた分野は「ジェンダー」「地域づくり」「復興支援」、「反戦」の言葉は「平和」ともに年表が作成され、「支援組織」と「支援行政」は、別の分野となりました。これだけでも、社会の動きを反映している感があります。

初版を読みだしてから、市民の自主的な活動の江戸時代末期からの動きをつぶさに知ることができ、納得のできる事象や現代の活動のルーツなど、読むたびに今でも新しい発見があります。時代区分は、大きく3つに分けてあり、創生期 (明治維新~第2次世界大戦終結まで)、成長期 (第2次世界大戦終結~NPO法成立まで、増補版ではバブル崩壊まで)、発展期 (増補版では展開期) (NPO法成立以後、増補版ではバブル崩壊~現代まで) としています。特に、創世記からは、歴史の教科書にもなかった事象が数多く記載されており、先人の多様な運動や活動が持つ、民衆の生活に根付いた深い歴史と思想によって紡がれていることを学びました。長く続いた町民互助社会であった、江戸時代の幕引き前夜から明治・大正・昭和と続く市民活動等創世期の動きは、現代の市民活動等のある意味幕開けだったのではないかと思います。

増補版を手に取り、「はじめに」をまず読みました。「市民による多様な運動や活動は民衆の生活に根付いた深い歴史と思想を持っている」という文章が目に留まりました。続いて「本書には、現在よりはるかに困難な状況の中で持続的に困難に立ち向かい、現在の市民活動の権利を勝ち取った人々の経験やそこからくる知恵が、豊かに息づいている。戦前においても、人々は決して単なる「臣民」として受動的に権力に従い忍従してきたのではなく、ともに手を取り合って歴史を作り上げてきた。」とあり、「市民活動の年表は、市民によって作られて続けていくべきであって、その作業には読者の参加が必要である」ともあります。これからの年表に新しい動きを創り出すのは、今動いている皆様なのです。

市民活動推進センターの図書コーナーには、初版と増補改訂版があります。ぜひ手に取って興味のある所だけでも読んでみませんか。今後の活動のヒントが見つかるかもしれません。(て)

講座・イベントのごあんない

イベント	日時		
■身近なSDGｓ　せっけんでトライ！大掃除	11月29日(火)		10:00～12:00
■IT講座「パワポでプレゼン講座」	12月12日(月)		13:30～16:00
■「クリスマス交流会」	12月18日(日)		15:00～16:30
■市民活動団体における SDGs 認知度・活動調査	11月10日(月)	～	12月10日(土)

NEW! 支援施設からのお知らせ

■IT講座「パワポでプレゼン講座」

活動を知らない方に向けた自組織の紹介や助成金申請等のプレゼンテーション資料づくりに役立ちます！団体の魅力を伝える「プレゼンテーション」について学び、共感を得るための手法を学びましょう！

日時　12月12日（月）13:30～16:00
会場　藤沢市市民活動推進センター会議室
内容　プレゼンテーションのコツ・使い方／プレゼンテーション実践
受講料　1,000円（資料代含む）
対象　NPO・市民活動・地域活動に関わっている方で、Power Pointを使用している方、使用予定の方
定員　10名（先着順・貸出PC5台まで）
講師・運営　藤沢市市民活動支援施設サポートクラブ　ITサポーター

■身近なSDGｓ　せっけんでトライ！大掃除

年末の大掃除を機会に、環境に影響の少ないせっけんを生活に取り入れる体験をしてみよう。水筒、換気扇など汚れの気になるものがありましたら、ぜひお持ちください！

日時　2022年11月29日（火）10:00-12:00
会場　藤沢市六会公民館2階調理室
講師　藤沢市せっけん推進協議会
対象　誰でも　定員　15名（先着順）
参加費　無料　持ち物　汚れが気になるもの
お問い合わせ　藤沢市市民活動プラザむつあい

■「クリスマス交流会」

様々な世代・活動をされている方が参加される交流会！
「団体PR・会員募集・他団体の活動を知る・NPOを知るきっかけ」として、ぜひ本イベントをご活用ください！

日時　2022年12月18日（日）15：00～16：30
会場　藤沢市民活動推進センターフロア
料金　無料
対象　市民活動を行っている団体や個人。興味のある方。
定員　30名
主催　藤沢市市民活動推進センター

■市民活動団体における SDGs 認知度・活動調査

今年度も当施設調査研究事業へのご協力、よろしくお願いいたします。
登録団体および市内NPO法人の皆さまにおかれましては、本情報誌に同封した調査票をご覧ください。また、QRコードのリンク先にあるフォームからもご回答いただけます。
ご注意：例年、返信用封筒を調査以外の目的に流用される事例が発生しております。封入物は調査票のみにしていただけますよう、お願い申し上げます。

期間　2022年11月10日（月）～12月10日（土）
対象　主に藤沢市内で活動しているＮＰＯ・市民活動団体
お問い合わせ　藤沢市市民活動推進センター

発行：藤沢市市民活動支援施設
本館：市民活動推進センター
開館時間 9:00～22:00　火曜休館
〒251-0052
神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F
※ビル名が変更になりました
TEL：0466-54-4510 FAX：0466-54-4516
Eメール：f-npoc@shonanfujisawa.com

分館：市民活動プラザむつあい
開館時間 9:00～19:00　月曜休館
〒252-0813
神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階
TEL＆FAX：0466-81-0222
Eメール：f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集：認定NPO法人 藤沢市民活動推進機構（藤沢市市民活動支援施設　指定管理団体）

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪
サポーターも随時募集中です！